



■活動日：2022年05月28日（木） 10:00~12:00

■参加者：チーム神於山 正会員 9名

■活動内容

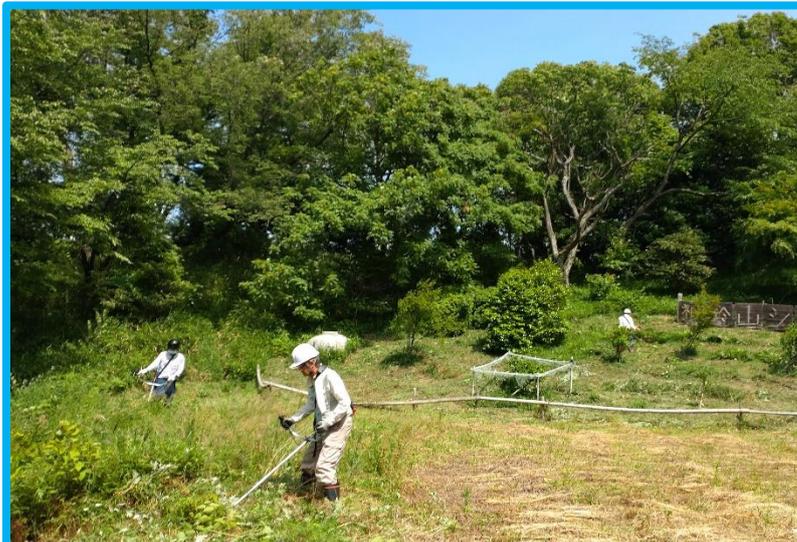
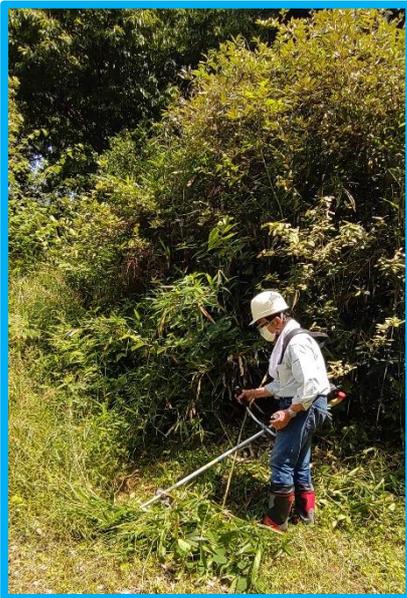
- ・草刈りに加え、シイタケの楢木の置き場作り、フクロウの巣箱を降ろしてダメージ確認、ムササビの巣箱カメラ交換という欲張った活動になりました。
- ・午前のみ参加の方が4名おられました。人数の多いうちという事で、楢木の置き場作りと、フクロウ・ムササビの作業から始め、草刈りは、その後からとなりました。
- ・草刈りは、広場と記念樹ゾーンの下半分を済ませました。次回以降に暗渠回りや、基地から上の草刈りを進めたいと思います。
- ・シイタケの楢木の置き場は、元からの置き場が陽が良く当たるようになり、影になる場所を開墾してありました。今回は杭を打ち込んで、竹を横木にして置き場を作りました。3年後のお楽しみです。
- ・フクロウの巣箱は、桜の倒木の直撃を受けた割にダメージは少なく、上側の枠木を1本交換程度で済みそうです。この丈夫さは、接手に臍を切って木を組んで作ってあったお陰のようです。
- ・参加頂いた9名の皆さん。本当にお疲れ様でした。

■次回の活動

- ・次回（6月11日）も、草刈りがメインです。

※6月からの活動は夏時間で、AMのみ、集合が1時間早まりますのでご注意ください。

草刈り



広場と記念樹ゾーンの下半分がきれいになりました。記念樹ゾーンの上半分と、左の写真の左下方向にある暗渠回り、基地から上に向かう通路や植栽地ゾーンは今後の活動で進めます。

コロナで2ヶ月ほどの活動制限後に初めて神於山に来たとき、広場は草が高く伸びていました。車は、草で海の様になっている中、草をなぎ倒しながら停車位置まで進みました。谷あいの道も草に埋もれて道が見えなくなっていました。あの時は、こんなに簡単に原野に戻って行くのかと驚きました。

今は最低限の活動が行えているので、そこまでひどい事にはなっていませんが、未だすべてが元通りではありません。
ゆっくりと少しずつ
コロナ以前に戻そうと
しています。



シイタケの櫛木の新しい置き場



左の写真が、半分ほど櫛木を置いたところ。
櫛木は地面に直置きせず、竹の上に載せ、左右から交互に立て掛けています。

右の写真は、全ての櫛木を運び上げて、乾燥防止のシートをかけたところ。



櫛木にするクヌギ等の木は、木質が緻密で硬くて重いので、基地から櫛木置き場まで運び上げるのが大変。総がかりで運び上げました。

フクロウの巣箱のダメージ確認



確認の結果、巣箱のダメージは、杵木の一本が接手部分で歪んでいるだけのようです。割れていなければ良いのですが。

巣箱は重量物です。これを高所で扱う負担を減らすため、2本の竹に取り付けて、ロープで引き起こして、木に固定しています。今回はその逆で、巣箱を地面に降ろしました。巣箱カメラやケーブルを回収しましたが経年劣化でかなり傷んでいます。

活動頂いた9名のメンバーの皆さんお疲れさまでした。



暑い中の活動お疲れさまでした。

前回活動日のヤマモモの実は、緑色でしたが、今回見てみると少し色付き始めていました。活動のたび毎回確認して収穫日を決めたいと思います。

